



自由民主党議員団 幹事長



戸張 孝次郎

新しい年も区民の皆さまとともに。

区民の皆さまには昨年大変お世話になりました。特に年末に行われました衆議院選挙では、日本の中心であるここ東京1区で立派な成績で勝利を得ることができました。心より感謝申し上げます。アベノミクス政策を完璧に遂行していくための大切な選挙であり、日本のより多くの人たちが、景気回復を実感でき、安全で安心して暮らせていける状況を、作り上げていくことが政府の大命題であります。



▲議場の国旗

本議場に「日の丸」と「区旗」を掲揚。

千代田区議会では昨年、本会議場に『日の丸』と『区旗』を掲揚することができました。千代田区すべての連合町会から陳情をいただき、私ども自由民主党議員団が中心となり成就いたしました。天皇陛下の傘寿の年に実現したことは大変うれしく思います。

地域の声を大切に。

本年4月に統一地方選挙がございます。まちづくり、子育て支援対策、高齢者対策、防災対策、町会とマンションとのコミュニティの問題など課題は様々ありますが、私共自民党議員団は地域の声を大切にして、地域の方々と連携をとりながら、区政運営を行ってまいりたいと考えております。

どうか本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

 <p>石渡 伸幸</p>	 <p>鳥海 隆弘</p>	 <p>戸張 孝次郎</p>	 <p>高山 はじめ</p>
 <p>小林 やすお</p>	 <p>桜井 ただし</p>		 <p>松本 佳子</p>
 <p>永田 壮一</p>	 <p>内田 直之</p>		 <p>嶋崎 秀彦</p>

9分野54項目にわたり予算要望。

トピックス

私たち自由民主党議員団は常に区民の皆さまの目線に立って、毎年区長に対して予算要望を行い、様々な事業を実現してまいりました。今年は特に区民の皆さまの生活に密接に関わる事項を中心に9分野54項目にわたり予算要望を致しました。

老人保健施設や特別養護老人ホームの整備推進、高齢者の在宅生活の支援など保健福祉に関する取り組み、保育園や学童

クラブの待機児童ゼロ対策や発達障害のある方への支援、いじめ防止対策などの次世代育成に関する取り組み、災害対策などの危機管理に関する取り組みや更なる景気回復に繋がる取り組み等、区政を取り巻く様々な課題の解決に向けてこれからも区民の皆さまのご期待に応えられるよう全力で取り組んでまいります。

(政調会長 桜井ただし)

千代田区議会 議長



嶋崎 秀彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、広島市の土砂災害や御嶽山の噴火災害等全国各地で甚大な被害が発生し、改めて自然災害の脅威を感じ、災害から区民を守る決意を新たにしました。

区政においては、少子高齢社会・核家族化等により、子育て支援施策の充実や高齢者の医療・介護・保健施策の充実、コミュニティ施策の推進など課題は山積しております。

私たちは、区民の抱える課題解決に向け、何よりも区民の皆さまが、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、全力で取り組んでまいります。

議員提案による条例制定へ。

区議会では、二代表制の一翼を担う機関として、数十年ぶりに議員提案による「水辺再生・都市の魅力向上」を図るべく川に関する条例制定に向け準備を進めております。

4月の統一地方選挙に向かって。

自由民主党議員団は一丸となって、区政課題の解決に向け邁進してまいりますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

平成26年 第4回 区議会定例会



▲年末の餅つき大会

代表質問 小林 やすお

第3次基本計画改定と財源措置について



Q 素案作成後の意見聴取など、計画改定に向けた作業の進捗状況と今後のスケジュール、そして具体的に必要な財源の確保は。

A 「参画・協同ガイドライン」に基づき、パブリックコメントと各種会議体での説明や意見聴取を行い、これらの意見を踏まえ素案の修正作業をし、新年度の予算編成に反映できるよう取りまとめる予定。財源措置については、財源不足による区民サービスの低下や区民負担の急激な増加を回避するため、社会資本等整備基金、財政調整基金、および減債基金等を再編・整理し、重点施策の実行を着実に進めるため財源を担保したい。具体的には、次世代育成支援対策、高齢者施策、防災対策など、区の重点分野ごとの将来需要を勘案し施策を実現するための基金として再編し、平成27年度当初より活用できるよう基金条例の改正を議会にお願いする。

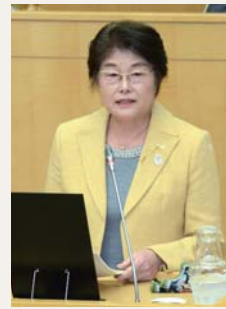
「外神田1丁目まちづくり」について

Q 万世橋出張所・区民館の早急な建替えはもとより、周辺地域との連携を見据えたまちづくりの視点を欠かすことはできない。国道事務所、旧万世橋警察署の都市地および区有地、現出張所を含めた約1,000平米の土地にまとめるべく、都市地取得については。

その他、「(仮称)高齢者総合サポートセンター」「外濠公園総合グラウンドの整備」について質問しました。

一般質問 松本 佳子

子ども子育て支援事業計画



Q ①来年4月1日から全国で一斉にスタートする子ども子育て制度をうけ、千代田区ではどのような支援策をとるのか。②乳幼児人口が増加する中、今後の乳幼児施設の需要数の把握と対策はどのようにするか。

A ①今までの計画の中ですすめていくか、新制度の中に創出されているものは本区でも盛り込まなければならない。②保育園・学童・地域型も現存のものを生かしながら充実していく。人材の確保に努め、幼保の連携、人材育成相互の研修を重ね質の高さを確保していく。5年後には900名以上の数が推定されている。新制度にもむかって対応を早急に推進することが急務であると認識している。



A 老朽化した万世橋出張所・区民館の改築にあたっては、万世橋から昌平橋までの地域全体の構想を基本とした上で、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催までの完成を目指している。都市地の取得については財政措置等を含めできる限り早く対応する。

一般質問 内田 直之

小・中学校校庭の人工芝化



Q 校庭の仕様において、ゴムチップや天然芝に比べ、人工芝の優位性が明らかになっている。富士見小学校校庭の事例に学び、子供たちの育成を最優先に考え、校庭の人工芝化を図ることを提案する。

A 富士見小学校校庭の芝生については、改めて方向性を出していきたい。人工芝の技術革新も視野に入れ、校庭を使用する子どもたちにとって何が最善かを最優先に考え研究する。

電線類の地中化100%と首都高速高架橋の撤去

Q 千代田区都市計画マスタープランに、電線類の地中化100%と首都高速高架橋の撤去を明確に示し、「人が主人公のエコ・コンパクトシティを創る」という強い意思を発信し続けることを提案する。

A 電線類の地中化は、積極的に推進すべきと考え、一つの指標としていく。首都高速高架橋の撤去は、広域的な観点から方向性が示されるものであり、一自治体の都市計画マスタープランでの位置づけは困難である。

その他、千代田区を取り巻く社会・経済情勢への対応や新たな区民ニーズを踏まえた、都市計画マスタープランの改定を提案しました。

一般質問 永田 壮一

公立学校の学級編制について



Q 少人数学級を推進する文科省と財政の観点から疑問を呈する財務省には見解の相違がある。教育を財政面でのみ判断するのは疑問だが、画一的な少人数学級にも無理がある。本区で児童生徒数の増加傾向が続く中で教室数を確保していけるのか。地域の実態に応じた対応をするべきだ。

A きめこまかい指導のためには小学校低学年では35人学級が適正だが、地域の実態に合わせて検討する。教室数は増改築で対応し必ず指定区域の学校に通学できるようにする。

教員の質について

Q 教員の採用倍率の大幅低下で質の低下が懸念されている。指導力に不安がある新卒教員への継続した指導体制はできているのか。閉鎖的な学校には社会人経験豊かな人材が必要ではないか。

A 教員の採用権限のある東京都と連携して研修など指導育成を充実させる。先輩教員が一人ひとりの教員の状況に合わせて指導・助言している。

我が国の将来を担う人材育成を第一に、公教育の質の向上を目指す施策展開が必要と考えています。